

皐月フミ

Presented by Fumi Satsuki

絶界牢獄3

ぜっかいろうごく

成年コミック

発情不可避の下剋上



『魔王城』
 雑居房・東棟
 関係者用通路――







いった感じが
しねえ……
何でだ

指が届かない
もっと奥…
腹の中がムズムズして
ずっと熱い

……



その前にしばらく
街にも行けねえけど

こんなんどうにか
してくれとか
風俗でさえ
頼みたかねえわ

絶海の孤島にある
『魔王城』

大抵の者がそう呼ぶことは
凶悪犯や脱走常連を集めた
脱獄不可能の男子刑務所
故に看守も職員も男しかない

最寄りの港と往復するだけで
一日以上かかるため
連休がなければ
外に遊びにも行けない

そういう意味では
看守すら
ここに囚われている

あとは…看守でも
島の外から仕入れるものは
検閲されるし
エロ本ならともかく
アダルトグッズは流石に…

何で俺が
こんなことで
悩まなきゃなん
ねーんだクソが!!

またラルミナが
がんしゃく
癩癢起こしてますが

あいつとは
目を合わせるな

そういや…
感覚おかしくする
魔物がいるなら

それを治せる奴も
いるんじゃないか？
でなきゃ困る時あるよな？

…

でもどっちなって
あいつに言うこと聞かせる？
失敗したらまた同じ目に…

いや…あいつ矯正監だし
下手したら左遷どころか
クビの可能性も

おい
ミカエル
まだ調子悪いのかよ

楽しんで
やろうかー？
永遠に

うるせえ
静かにしてろ!!

…ッ

怒鳴り声が
体に響くので
影響してくるとか
嘘だろ

チッ……!

このままじゃ
こいつらに
舐められるだけだ

ちー

悪いなラ
やれやれー

二度と
来んなー

もう四の五の
言ってるか…!

治せるならそれで良い
そうじゃないなら……

矯正監用自室

理一~~~~
アイツ洗脳効力ナイノ
鬱陶シクナイ?

頭ノ中直接弄レル奴
使エバ良イノニ

フーン?
ジャアドウスル

……まあ
勝手に発情する状態で
何か出来るとは思えない
そのうち音を上げる
だろう

ソウカナ……

あいつ?
ああ…俺は別に
違反者の自我まで
奪いたい訳じゃない

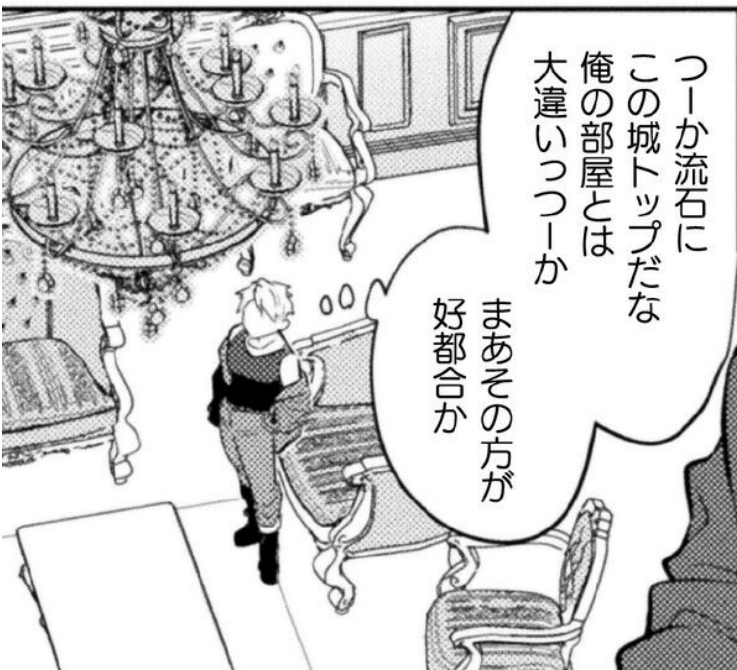
反抗心を抑制し
規律を守らせることが
出来ればそれでいい

ON

OFF

俺は刑務官で
警察官でも裁判官でもない
すべきは断罪ではなく
矯正と秩序の維持だ

諦めないなら
それはそれで
叩きのめし甲斐が
あっていい





それで？
わざわざ俺の部屋まで
来た理由は何だ

あー……

この島の魔物に
俺の『感覚異常』を
どうにか出来るよう
なのっているのか？

…ああ…
いらないこともないが

聞くだけ無駄だ
それは貴様への
罰なのを忘れたか



意識がなけりや
魔物も部下も呼べないだろ
ぞまーみろ

んじやー
今度は俺が
思い知らせてやる番だ



……俺のズレた……

そうか
あいつに落とされて…

というか
何だか足が重い…

お？

不覚だ
丸腰と思って油断した

しかじこうして
わざわざここに

まさか手荒なことをした
詫ひのためなんて
ことはないだろう



やっと起きたか

!!?



テメーあんま自分で
しねえだろすぐ
バキバキになったし

ふざけるな
何してる

ふざけちゃ
いねーよ

ク
ク
ク

!

ク
ク

ク
ク

生憎
俺は触手とか
使えねーし
こうするしかねえだろ

ツクそ
半端に
脱がされてるせいで
足がろくに動かせない

離れろ
また懲罰塔に
戻されたいか

あの玉座から離れるほど
直接召喚する力が弱まる

そのためもあって
魔力中継能力がある
ウォッチャーズを
いつも連れてくるのに
あいつはどこに

別にいい

……？



部外者に
悟られないように
懲罰対象者に
怪我をさせることが
出来ない

それならまた
あれしかないんだよね？
じゃあどのみち
この最悪の状態は
変わらねえ

これ治せるのに
治さねえなら
せめてテメエが
責任取れよ



断る
ここの秩序を乱す奴を
矯正するのが俺の正義だ^{しごと}



俺とテメエの正義は
とことん相性悪いみてーだな

……俺は
男とやる趣味は
ないぞ

俺だってねえわ
バカ！

でも今は他に
どうしようもねえし

それに！

格下に好きにされるのなんて
テメエには何より屈辱だろ？
それなら喜んでやってやるよ



ん……！

……！

……



……人の挿れるとかもって
気持ち悪いかと思ったのに

……♡

体も頭も
相当イカれてきてんな
ム力つく

でも……それでも

ちつとも萎えねーじゃ
ねえかよ嫌いな奴に
犯されてんだぞ

チツ…

はっ

チッ
チッ
チッ

こいつにこんな顔
させられて
すっげー
スツとするわ!!

こいつ表情筋
生きてたんだな

さて

じゃあ
ありがたく
玩具の代わりに

わっせー……

はあっ

……ん??

当たり前だけど
魔物どもとかなり
感覚が違うつつーか
腹の中すげー熱くて
それだけでかなり…

…っーかなんか
さっきより大きく…

はぁ…

当たり前だけど
魔物どもとかなり
感覚が違うつつーか
腹の中すげー熱くて
それだけでかなり…

…っーかなんか
さっきより大きく…

あ
やばい

くっそ
大きいっつたって
所詮は人間のて

こいつの体液にまで
変な効果がある訳もない
あの触手ほど
並外れてる訳でも
スライムみたく
胃まで行きそうなほど
入り込む訳でもないのに
何でこんな…

くっ……っ
しっかりしろよ俺
主導権は
こっちが
…持つてなきや…

ぐわ
ぐわ
ふわ

くっそ
大きいつつたって
所詮は人間ので
こいつの体液にまで
変な効果がある訳もない
あの触手ほど
並外れてる訳でも
スライムみたく
胃まで行きそうなほど
入り込む訳でもないのに
何でこんな…

くっそ
大きいつつたって
所詮は人間ので
こいつの体液にまで
変な効果がある訳もない
あの触手ほど
並外れてる訳でも
スライムみたく
胃まで行きそうなほど
入り込む訳でもないのに
何でこんな…

くっそ
大きいつつたって
所詮は人間ので
こいつの体液にまで
変な効果がある訳もない
あの触手ほど
並外れてる訳でも
スライムみたく
胃まで行きそうなほど
入り込む訳でもないのに
何でこんな…

くっそ
大きいつつたって
所詮は人間ので
こいつの体液にまで
変な効果がある訳もない
あの触手ほど
並外れてる訳でも
スライムみたく
胃まで行きそうなほど
入り込む訳でもないのに
何でこんな…

くっそ
大きいつつたって
所詮は人間ので
こいつの体液にまで
変な効果がある訳もない
あの触手ほど
並外れてる訳でも
スライムみたく
胃まで行きそうなほど
入り込む訳でもないのに
何でこんな…

くっそ
大きいつつたって
所詮は人間ので
こいつの体液にまで
変な効果がある訳もない
あの触手ほど
並外れてる訳でも
スライムみたく
胃まで行きそうなほど
入り込む訳でもないのに
何でこんな…



くっ……っ

しっかりしろよ俺
主導権は

こっちが
…持つてなきゃ…



くっ……っ

しっかりしろよ俺
主導権は

こっちが
…持つてなきゃ…



くっ……っ

しっかりしろよ俺
主導権は

こっちが
…持つてなきゃ…



くっ……っ

しっかりしろよ俺
主導権は

こっちが
…持つてなきゃ…



ん...ん...
ん...!

はっ

はっ

.....

はっ

あ...
もしやもう奥...
ちゅう...ちゅう...ちゅう...

ちゅう...♡

ちゅう

はっ

ん??

.....

はっ





あいつら電話
みたいなもんだし
普段は人間には
見えないつつてたな…

あの野郎
仲間呼んだな

あっ

つか…これ
まずい…

……っ



おっ…



いい気になるなよ

そんなにやりたいたら
泣いて赦しを乞うまで
やってやる



こいつの
こんな形の
反撃
想定して
なかったぞ

嘘だろ

あっ
お

おっ

おっ

おっ

息…息が苦しい
苦しいのに

気絶も出来ねえ
このイカれサドが

マジで息が止まる
死ぬ

頭…酸素いかなえ…
どっちがやめる

いや違う…
どっちも

!?

あっ

ちばい

はっ

はっ

はっ

はっ





あっ

あれ……え？

今……イッた……？

はあ……はあ

はあ

はっ

はあ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ







化け物たちが凄いただけで
こいつ自身は
大したことない
と思ってたのに

何が男はダメだ



魔物より何より
こいつが一番
悪魔じゃねえか…!!



もういい……！
やめっ……やめろ……！

っあ

んん……！！

やめろ？

言うことを
聞いて欲しい時は
どう頼むんだ？

貴様も囚人たちに
そうさせてきただろう？

あ…

そうだ…おれは…
…かんりするがわ…
だから…
なめられないために…

でも……

これじゃからだが…おさへへんか

あたまで
おかしくなる…!!

わかつ……やめ
やめて、ください……っ

それならもう
逆らわないか？
俺の命令はちゃんと
聞くか？

聞くっ…
聞き…ますから…っ

ふ、や…
契約…？

そうか
これで契約成立だな

とにかく
これで逃げ……

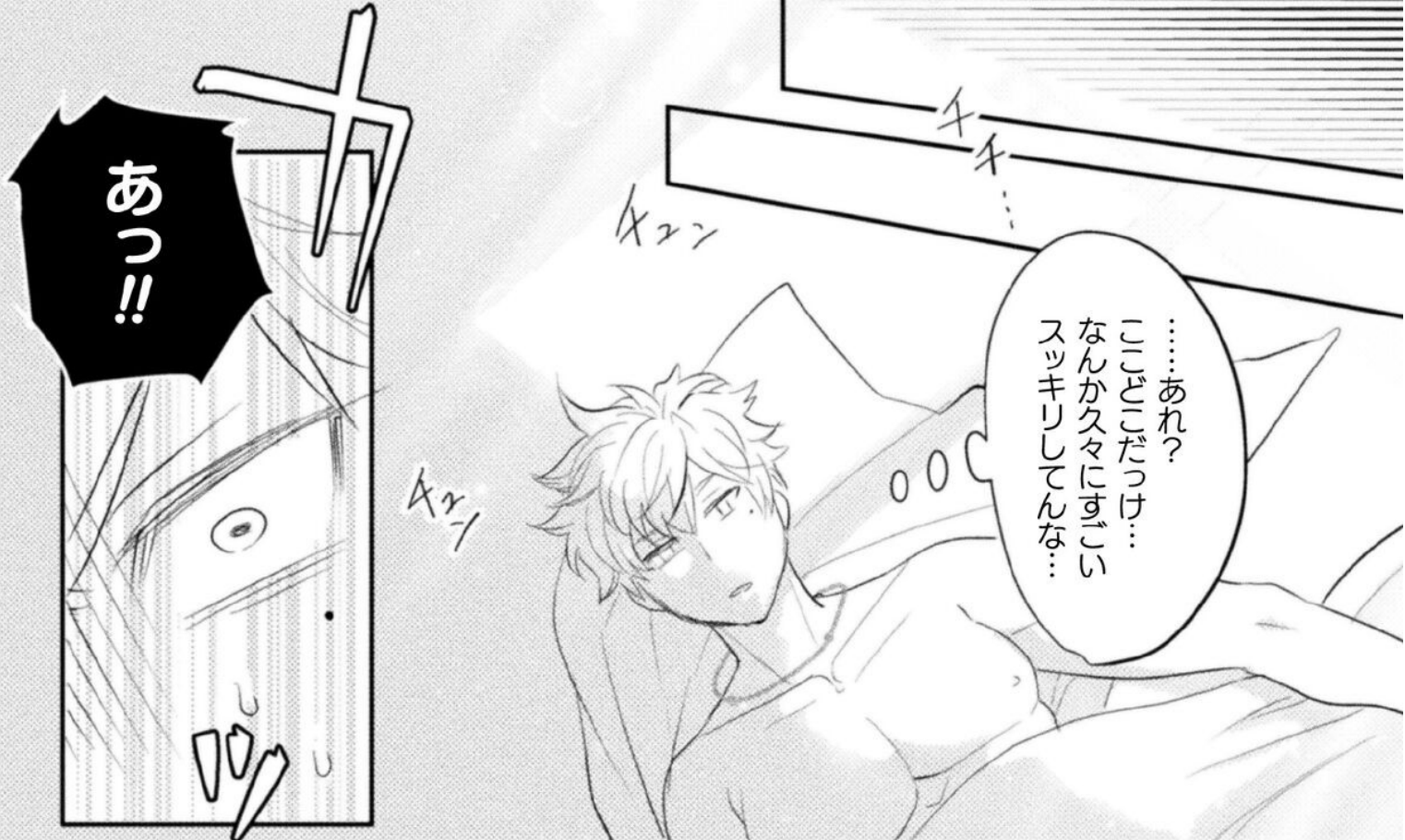
このクソ野郎…！

……しね……

懲りてないよう
で何よりだ

With 333







これは契約の悪魔
二者間で結ばれた契約を
強制的に「守らせる

!



誰がそんなこと……!



だが彼らこの島の魔物の力は
今は「ここでしか
発揮出来ないから島を出て
二度と戻らなければ済む話だ



貴重な人材が
減るのは痛い
逃げるなら
いつでも退職届は
受け取るぞ

そうだろうな

い

それではいい
家畜生活を

看守
ミカエル・ラルミナ

TO BE
CONTINUED



ブラックチェリーコミックス

絶界牢獄3

発情不可避の下剋上

漫画●皐月フミ

装丁●マイクロハウス

発行●株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル

編集部 TEL03-3551-6147 / FAX03-3551-6146

販売部 TEL03-3555-3431 / FAX03-3551-1208

© 皐月フミ

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。

本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

<https://cerisero.se.jp/r18/>

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど、どしどし
お書きください！ 読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

アンケートフォーム

<https://ktcom.jp/goiken/>

手紙・ハガキ・メールの宛先

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル

(株) キルタイムコミュニケーション

ブラックチェリーコミックス感想係

メールアドレス blackcherry@ktcom.jp



